



2023年11月21日

新型 MINI Countryman 誕生

MINI Crossover から生まれ変わり、MINI 次世代モデルの第一弾として登場

プレミアム・コンパクト SUV らしい力強さが飛躍的に向上

MINI 初となるハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載する等、安全機能および運転支援システムが大幅に進化

今までに経験したことのない、かつてないデジタル体験を提供

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: 長谷川正敏）は、プレミアム・コンパクト SUV 「MINI Countryman（ミニ・カントリーマン）」の新型モデル（全面改良）を、全国の MINI 正規ディーラーにおいて、本日より予約注文の受付を開始する。併せて、MINI の web サイトにおいても、予約注文の受付を開始する。納車は、2024 年第一四半期以降を予定している。

英国のプレミアム・ブランド MINI にラインアップされる MINI Countryman は、日本においては MINI Crossover の呼称により、2011 年に MINI の 4 番目のモデルとして、MINI で初めてのプレミアム・コンパクト・モデルの SUV として誕生した。誕生するや否や、多くの MINI ファンにより親しまれ、2017 年には二代目に進化した。今回、三代目となる新型 MINI Countryman は、従来の呼称である MINI Crossover から革新的なデザインと機能を備え生まれ変わり、今後、全ての MINI ラインナップが次世代モデルとして誕生する中で、その第一弾モデルとして登場する。

メーカー希望小売価格（消費税込）

モデル	メーカー希望小売価格
MINI Countryman C	¥ 4,890,000
MINI Countryman D	¥ 5,090,000
MINI Countryman S ALL4	¥ 5,660,000
MINI John Cooper Works Countryman	¥ 6,670,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。
- 右ハンドル仕様

全てにおいて刷新されたエクステリアおよびインテリア・デザインと、サイズ・アップに伴い、新型 MINI Countryman は、より SUV らしく、力強さを飛躍的に向上させている。さらに、エクステリアおよびインテリアの素材からクローム・パーツやレザーを排除し、代わりに採用した新素材にはリサイクル・ポ

リエステルやリサイクル・アルミニウムを利用するなど、将来を見据えた次世代モデルであることを印象付けている。

機能面においても大幅な刷新が行なわれ、特に安全機能および運転支援システムにおいては格段に進化し、MINI として初となるハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載するなど、今までに経験したことのない、かつてない体験を提供する。

パワートレインには、高効率ガソリン・エンジン搭載車、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載車を用意し、2 輪駆動モデル、4 輪駆動モデルの選択も可能であり、幅広いニーズに応えられるラインアップを新型 MINI Countryman に取り揃えている。

新型 MINI Countryman は、次世代 MINI モデルとして誕生するのみならず、新しい取り組みとして、次世代を見据えた販売チャンネルでも販売される。従来、MINI の新車は、MINI 正規ディーラーでのみ注文の受付を実施していたが、新型 MINI Countryman を含め、今後に発表される全ての MINI は、顧客のライフスタイルの変化に柔軟に対応し、いつでもどこでも 365 日 24 時間利用可能な MINI オンライン・ストアより注文が可能となる。

エクステリア・デザイン

ソフトなボリューム感と正確に削り取られたエッジの組み合わせが特徴的な新型 MINI Countryman は、複雑な輪郭を描いた八角形のフロント・グリルが、グラフィカルで印象的なフロント・マスクを生み出している。

サイド・デザインは、ミニマルな外観でありながら力強い存在感を放ち、特に特徴的なデザインの C ピラーは、車両後部のルーフラインを支えると同時に、車体全体に垂直方向の存在感を印象付け、さらにブラック・ルーレールの装備により、引き締まった印象を与えている。

リアは、全体を縁取る縦型のリア・ライトとクリアな表面が特徴的なデザインとなっており、ワイドなスタンスと直立的な力強いデザインを強調している。

インテリア・デザイン

温かく広々とした印象を与えるインテリアは、完全にデジタル化され、今までに経験したことのない、かつてないデジタル体験を提供している。ステアリング・ホイールの背後のメーター・パネルは廃止され、すべてのコンテンツはヘッドアップ・ディスプレイおよび円型有機 EL センター・ディスプレイに映し出される。

余分なものを削ぎ落とし、巧みにデザインされた高品質なコンポーネントによって、前方への視界が開け、広々とした室内空間を実現させた。また、広々としたカーブを描くダッシュボードには、布地を連想させる新しい素材を初めて採用している。リサイクル・ポリエステルを使用したこの新素材は、編み物のような特別な製造プロセスによって、汎用性が高く手入れが簡単な構造となっており、さらに温かみのある印象も与えている。

先代モデルにおいてはセンター・コンソールにあった、パーキング・ブレーキ・スイッチ、ギア・セレクター・レバー、エンジン・スタート/ストップ・ボタン等は、すべてセンターディスプレイ下のトグルスイッチ・エリアに集約させることで前席周りの空間が広がり、モダンかつスタイリッシュな雰囲気を醸し

出している。

最先端の有機 EL テクノロジーが採用された大型の円形センターディスプレイには、直径 240mm の高品質ガラスが使用され、最適化された高感度タッチ機能を装備している。操作はスマートフォンを操作するような直感的な操作が可能であり、メイン・メニューでは、各機能がウィジェットとして横並びに配置され、スワイプやタッチで操作する。メーター・パネルとしての機能はもちろんの事、AR 機能付きナビゲーション・システム、メディア、電話、エア・コンディショナー、各種設定等々、すべての操作を一括して円形有機 EL ディスプレイで実施する。

MINI エクスペリエンス・モード

全車標準装備の MINI エクスペリエンス・モードにより、新型 MINI Countryman では、インテリアの雰囲気を一変させることが可能である。ダッシュボード上に最大 7 パターンの光のグラフィックを投影させることで、光のパターンとアンビエント・イルミネーション、そして新たに作られた MINI ドライビング・サウンドによりインテリア全体の印象が変化する。各モードのそれぞれのデザインにはダイナミックな背景があり、個人の好みに応じて選択することができる。これらの新たな機能は、個性を活かす手段ともなり、例えば、パーソナル・モードでは、お気に入りの画像をディスプレイの背景に設定することができ、また、ビビッド・モードを設定すると、流れている音楽のカバー・アートの色に合わせたライト・エフェクトが 25 色の中から自動で選定され、ダッシュボード上に投影される。この新たな没入感のあるユーザー体験により、新型 MINI Countryman のインテリアにさらなる表現力を与えている。

LED シグニチャー・ライトおよび Welcome Good-bye ライト

新型 MINI Countryman のヘッドライトは、フロントのエクステリア・デザインを印象付けるデザインであると共に、機能が充実している。アダプティブ・ライト、ハイビーム・アシスタントが標準装備された LED ヘッドライトには、MINI らしい遊び心を表現した機能も新たに導入される。

シグニチャー・ライトは、フロントおよびリア・ライトの点灯方法を 3 つのパターンから選択でき、その日の気分でカスタマイズが可能となる。Welcome/Goodbye ライトは、車両のキーを持った状態で車両に近づいたり離れたりとすると、フロントおよびリアのライトが点滅し、まるで車が挨拶をするかのような MINI らしい機能である。

パワートレイン

MINI Countryman C

BMW グループが誇る EfficientDynamics エンジンの新世代モジュール式高効率 1.5L 直列 3 気筒 MINI ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンを搭載する MINI Countryman C (シー) は、最高出力 115kW/5,000rpm、最大トルク 230Nm/1,500-4,600rpm を発揮し、ダイナミックな走りを実現する 7 速ダブル・クラッチ・トランスミッションが組み合わされている。

MINI Countryman D

BMW グループが誇る EfficientDynamics エンジンの新世代モジュール式高効率 2L 直列 4 気筒 MINI ツインパワー・ターボ・ディーゼル・エンジンを搭載する MINI Countryman D (ディー) は、最高出力 110kW/4,000rpm、最大トルク 360Nm/1,500-2,500rpm を発揮し、ダイナミックな走りを実現する 7 速ダブル

ル・クラッチ・トランスミッションが組み合わされている。

MINI Countryman S ALL4

BMW グループが誇る EfficientDynamics エンジンの新世代モジュール式高効率 2L 直列 4 気筒 MINI ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンを搭載するガソリン・エンジン搭載モデル MINI Countryman S ALL4（エス・オールフォー）は、最高出力 150kW/5,000rpm、最大トルク 300Nm/1,450-4,500rpm を発揮し、ダイナミックな走りを実現する 7 速ダブル・クラッチ・トランスミッション、オールタイム 4 輪駆動システム ALL4 が組み合わされており、あらゆる路面での安定性と悪路の走破性を高め、SUV としての機能性を高めている。

MINI John Cooper Works Countryman

レーシング・スピリットあふれる走りの特徴とし、精悍で卓越した走行性能と個性的なスタイリングを融合させた MINI のハイ・パフォーマンス・モデルである MINI John Cooper Works Countryman（ジェイシーダブリュー）には、MINI ツインパワー・ターボ・テクノロジー等の技術により最高出力 233kW/5,750rpm、最大トルク 400Nm/2,000-4,500rpm を実現したガソリン・エンジン、7 速ダブル・クラッチ・トランスミッション、そして、John Cooper Works 専用チューニングが施されたスポーツ・サスペンション、さらに、コーナリング時のトラクションとハンドリング性能を向上させるエレクトロニック・ディファレンシャル・ロック・コントロール（EDLC）、パフォーマンス・コントロールを備えたダイナミック・スタビリティ・コントロール（DSC）、MINI 独自の 4 輪駆動システム ALL4（オールフォー）等の採用により、ドライビング・パフォーマンスが最高レベルとなり、あらゆる路面での安定性と悪路の走破性を高め、SUV としての機能性が高められていると共に、サーキットにおいても優れた運動性能を発揮する。

*: 記載の数値は、参考値となります。

ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

BMW 社が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が、MINI モデルとしては初めて、搭載されている。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路^{*1}での渋滞時（時速 60km 以下）において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、一定の条件下にて、ステアリングから手を離しての走行が可能^{*2}となる。

*1: 高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。

*2: SAE International（Society of Automotive Engineers）が定めるレベル 2 の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

先進安全機能ドライビング・アシスト・プロフェッショナル

高性能カメラ&レーダー、および、高性能プロセッサによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の先進安全機能ドライビング・アシスト・プロフェッショナルを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付）、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム）、衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避ステアリング付）、クロス・トラフィック・ウォーニング、ペダル踏み

間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。

さらに標準装備となるパーキング・アシスタント・プラスには、鮮明な画像により車両の周りの状況が確認できるサラウンド・ビュー機能、並列および縦列駐車を容易にするパーキング・アシスト機能に加え、車両が時速 35km 以下で直前に前進したルートを最大 50m までを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となるリバース・アシスト機能が採用されている。日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

車両全方向に対応したドライブ・レコーダー

新型 MINI Countryman には、車載カメラを使用した全方向(前後&左右)記録可能なドライブ・レコーダーを標準装備している。後付けのドライブ・レコーダーと異なり、車両後方の映像もウィンドー越しではなく直接撮影するので、あおり運転等の危険運転車両と遭遇した際に、車両のナンバーも鮮明に記録すると同時に、サイドのカメラで幅寄せの映像記録にも対応する。また、前方カメラを使ってドライビング中に前方の美しい景色を記録することも可能である。

インテリジェント・パーソナル・アシスタント

AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。

「Hey MINI (ヘイ・ミニ)」と呼びかけるか、ステアリング・ホイールのトーク・ボタンを押すことで、インテリジェント・パーソナル・アシスタントが起動し、ナビゲーション、電話、ラジオ、空調管理など、主要な機能を操作することが可能となり、音声操作によるコミュニケーションは、円型有機 EL センター・ディスプレイ上に、グラフィック、テキスト、アバターからなるアニメーションの形で表示される。

3年間の主要メンテナンスが無償となる MINI テンダー・ラビング・ケア

3年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる

「MINI テンダー・ラビング・ケア」が全車に付帯されているため、車の維持費が大幅に軽減され、より安心なドライブを提供している。

MINI Countryman 商品関連 web サイト

https://www.mini.jp/ja_JP/home/range/new-mini-countryman.html

主な車両諸元

⇒ MINI Countryman C

全長 4,445mm、全幅 1,845mm、全高 1,660mm、ホイールベース 2,690mm、排気量 1,498cc、直列 3 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 115kW/5,000rpm、最大トルク 230Nm/1,500-4,600rpm。

- ⇒ MINI Countryman D
全長 4,445mm、全幅 1,845mm、全高 1,660mm、ホイールベース 2,690mm、排気量 1,995cc、直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、最高出力 110kW/4,000rpm、最大トルク 360Nm/1,500-2,500rpm。

 - ⇒ MINI Countryman S ALL4
全長 4,445mm、全幅 1,845mm、全高 1,660mm、ホイールベース 2,690mm、排気量 1,998cc、直列 4 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 150kW/5,000rpm、最大トルク 300Nm/1,450-4,500rpm。

 - ⇒ MINI John Cooper Works Countryman
全長 4,445mm、全幅 1,845mm、全高 1,645mm、ホイールベース 2,690mm、排気量 1,998cc、直列 4 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 233kW/5,750rpm、最大トルク 400Nm/2,000-4,500rpm。
- *: 記載の数値は、参考値となります。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

MINI カスタマー・インタラクショ​​ン・センター

フリーダイヤル 0120-3298-14

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

MINI ウェブサイト: <http://www.mini.jp>